



中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校
学校だより 1月号
令和6年1月10日発行
<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>
☎75-0372

学校HP



令和6年1月1日に発生した石川県能登半島地震により、犠牲となられた方々にお悔やみを申しあげるとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地域の皆様の安全とともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、保護者・PTA役員の皆様、地域の皆様、ご関係の皆様には、本校教育に深いご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

今年も教職員一同、子どもたちのために誠心誠意努力する所存でございますので、引き続きご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、2週間ぶりに子どもたちが登校し、本日3学期がスタートしました。年末年始はわりと穏やかな天候に恵まれ、それぞれ気持ちを新たに、令和6年を迎えられたことと思います。新年になり、清々しい笑顔の表情で登校してきた子どもたちと出会い、そのやる気と笑顔を失わせることなく、子どもたちのよき伴走者として、その責務に改めて気持ちを引き締めたところです。



笑う門には福来たる

教師という仕事をしている中で、どんなに忙しく疲れていても、その疲れを吹き飛ばしてくれたり、和らげたりしてくれるものといえば、子どもたちの“笑顔”です。子どもの笑顔は何物にも代えがたい“宝物”です。保護者の皆様もこれまでの子育ての中で幾度となく、その笑顔に癒されたり、励まされたりしたのではないのでしょうか。

皆さんは「新生児微笑」をご存じでしょうか。生まれて間もない赤ん坊が、時折見せる笑顔のことを言います。新生児微笑は、新生児期～生後2ヶ月頃に見られる赤ちゃんの本能的な行動なのですが、感情に動かされて自発的に笑っているわけではなく、顔の神経の反射によるものだそうです。また、「自分が笑うことで周囲が優しくしてくれる」という、赤ちゃんなりの自己防衛手段だと考えられています。人間は、生まれながらにして“笑顔”なんですね。

その「笑顔」は、人間にとって様々な効能があると言われています。例えば「免疫力がアップ」する。これは医学的にも証明されている効果です。笑顔には、ナチュラルキラー細胞という免疫細胞を活性化させる効果があると言われており、すでに病気予防の取組に活かされています。また、常に笑顔でいると、その波及効果で幸福度がアップします。「幸せだから、笑顔になる」というよりも「笑顔が素敵だから、幸せになっている」とも言われます。この他にも、まだまだ笑顔がもたらす効果はたくさんあります。

子どもたちは日々、子どもたちなりの“社会”の中で生活をし、楽しいこと、苦しいこと、悲しいことなど、様々なことを経験し、成長していきます。私は、そのどれもが子どもたちにとっては、自分の心身を鍛え、豊かにするために必要なことと考えています。たとえ、どんな状況でも強い自己肯定感と折れない心を働かせて、“笑顔”で乗り切ってほしいと思います。自分だけでは難しい時には、大人の力を借りることも大切です。子どもたちが生まれながらにして持つ素敵な“笑顔”が輝く1年になることを切に望むと同時に、教職員が一丸となって、全ての子どもたちの“笑顔”を輝かせるために尽力していきたいと思っております。

「笑う門には福来たる」。昔から伝わることわざです。中筋っ子はもちろん、中筋小学校に関わる全ての方々がこの1年、笑顔で過ごし、幸せが共有できれば、こんな素敵なことはありません。どうかそんな1年にしていくために、家庭・地域・学校が共に手を携えて、“笑顔”輝く学校づくりに共に進んでいくことができますよう、よろしくお願いいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同



見守り隊の皆様 ～今年もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします～

中筋校区ではたくさんの方々に安全見守り隊に登録していただき、子どもたちの安全を見守る活動をしていただいております。今日から3学期が始まりました。地域・保護者の皆様方、今年も子どもたちの安全・安心の見守り活動をよろしくお願いいたします。

防犯推進委員の皆様方には、お忙しい中、「防犯パトロール活動」を特別にお世話になっておりますこと感謝申し上げます。今年もどうかよろしくお願いいたします。

